

第31号  
平成24年2月6日  
発行  
「市民活動情報紙  
なると」編集委員会

# 市民活動 情報紙なると

鳴門市ボランティア  
連絡協議会  
☎685-7170  
鳴門市市民活動  
支援センター  
☎685-7170

## 第16回うずしお福祉フェスティバル 第10回鳴門市市民活動交流研修会が同時開催されました。



伊賀公一氏の記念講演

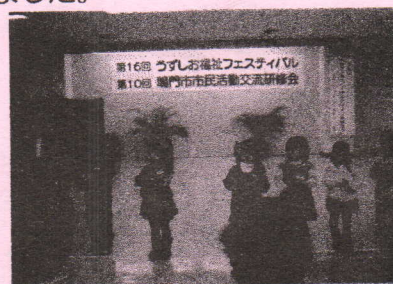


マッチングフェアとパネル展

障がい者福祉の向上と社会貢献活動のさらなる発展を目的に、第16回うずしお福祉フェスティバルと第10回鳴門市市民活動交流研修会が1月29日、キョーエイ鳴門駅前店4階で同時開催されました。午前は、鳴門高校生のヒップホップダンスやグランファーム保育園児の手話をつかった歌のほか、マジックショーなどのおたのしみ広場がありました。

午後からは、カラーユニバーサルデザイン機構・副理事長伊賀公一氏の「カラーユニバーサルデザインを学ぼう」と題した記念講演があり、伊賀氏は、「人の色の見え方は多様である。色覚が正常な場合とそうでない場合は色の見え方が違う。」「色弱者は色が分からないのではなく見分けにくいだけである。」と、色弱者にとって見づらい黒の中に書かれた赤の文字、オレンジか黄緑かの区別が付きにくいLEDの表示などを例にして、当事者である自身の体験を交えながら話されました。また、情報伝達の記号（色）の使い方は、多様な色の見え方（色覚）に配慮して、見る人の視点に立って誰にでも見えやすいデザインをすることが特に重要なことだと強調されました。

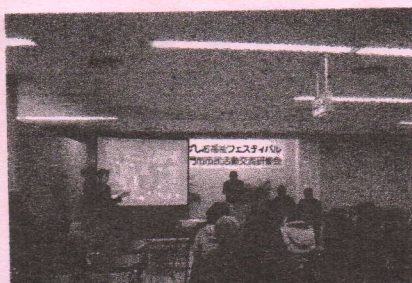
その後、福祉団体からの意見発表や、中高生によるボランティア活動報告も行われ、ボランティア・NPO・マッチングフェアも開催されるなど多くの人々が交流しました。



手話をしながら歌う保育園児



鳴高生のヒップホップダンス



二中生のボランティア活動報告

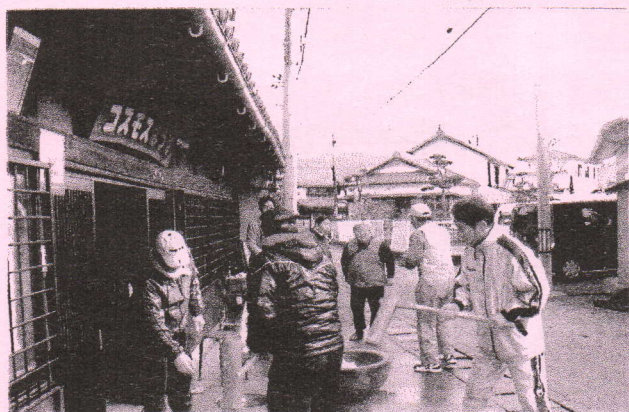


多くの人々が訪れたバザー



3つの交流を通じて地域に貢献 — 10年間の軌跡 —

NPO法人地域交流の会コスモスほうす  
理事長 民喜 正文



もちつき大会

平成13年7月に板東の地にコスモスほうすが誕生して、10年余りの月日が流れました。現在では、地元の皆さんに愛され親しまれ、温かいご協力をいただき、地域にはなくてはならない居場所となっています。

この居場所も設立当初、元郵便局長であったHさん（その後利用者さん第一号となる）がコスモスほうすに來られて、「なんぞ商売でも始めるんで？」と言われ不思議がられたくらい無名の宅老所でした。しかし現在では、年間を通じ、のべ2500名以上の方が利用されるまでに成長しております。

さてこの宅老所施設10年間の軌跡をたどれば、3つの交流に集約できるのではないかと考えます。第一に世代間交流、第二に国際交流、第三に他地域・他団体との交流です。

一つ目は、もちつき大会・ソーメン流し大会・クリスマス会などの異世代間の交流行事を通じて、孫とおじいさんのような関係ができ、一緒に過ごすことで楽しくなっていく交流です。

二つ目は、とくに国際姉妹都市であるドイツや中国の方との交流です。鳴門市に來られている国際交流員との交流を通じて、新たな発見と国の違いを越えた相互理解に役立っています。以前は、中国に戦争に行かれたHさんと中国から來られた若い女性交流員との中国語での心の通った会話は特に見えていて印象深い場面でした。

三つ目は、他地域の舞踊グループや地元の人人会やNPO法人山びこへるぷさんやJCIテレワーカーズネットワークさんなどの協力団体との交流です。この交流を通じて、教え励まされることが多く、身も心も健康になっています。

以上これらの三つの交流を通じて、ご利用の皆さんもスタッフもご協力頂いた方々もすこぶる元気になり、そのことで少しでも地域の活性化に貢献出来ているのではないかと考える所です。

皆さん、今までのご協力ありがとうございました。これからも「コスモスほうす」を宜しく願います。

平成23年度 コミュニティ講演会

日時 平成24年2月21日(火)  
14:00~16:00  
会場 鳴門市老人福祉センター 3階  
主催 鳴門市自治振興連合会  
共催 鳴門市  
演題 「災害派遣報告」  
講師 高知駐屯地所在 陸上自衛隊  
第14施設中隊長 兼  
第14旅団司令部施設課長  
2等陸佐 津田 充寿氏  
問合せ先 鳴門市役所 市民協働推進課  
088-684-1189

行事のお知らせ

第4回「ふくろうの森」文学教室

万葉人の心の世界を探るⅡ  
～大伴旅人をとりあげて～

日時 平成24年3月17日(土)  
10:00~12:00  
場所 鳴門市立図書館2階 視聴覚室  
講師 世羅 博昭氏  
(鳴門教育大学名誉教授、四国大学名誉教授)  
定員 50名  
資料代 100円 (当日、受付にて集金)  
持ち物 メモ用紙、筆記用具  
申込み 2月1日~先着順に受付(当日受付可)  
問い合わせ先・申込先  
NPO法人「ふくろうの森」事務所  
TEL・FAX088-685-0389



## 平成23年度鳴門市第一中学校ボランティア活動実践報告

### 鳴門市第一中学校「ボランティア部」

平成23年度の主な活動としましては、校内と校外でボランティア活動を行っています。校内活動においては、毎朝、正面玄関や生徒玄関の清掃を行っています。放課後は、ペットボトルの花瓶作り、廊下の花の手入れ、玄関周りのプランターの植え替えや手入れのような校内美化活動、季節のタペストリーを作っていました。また校外活動においては、新池川の植栽いかだの植え替えや環境学習等のように、ボランティア団体から依頼があったボランティア活動も行っています。新池川をきれいにするために、EMだんごを投入したり、EMダンゴ作りをしたりしています。

また、毎週土曜日には、ケアハウスなると、グループホームこすもすを訪問しています。ここでは、施設の利用者との交流のほかに、ポスター制作や水槽の手入れ、草抜き、プランターの花の植え替え、花の手入れをしています。利用者との交流では、トランプや簡単なクイズや計算、カルタ、パズルを使った脳トレ、歌などを一緒にしています。



海岸を清掃する生徒の皆さん

日曜日には、玄関などの生け花、校舎内の花の手入れ、校舎内外の清掃、校外でのボランティア活動に参加しています。地域の清掃活動に参加しました大毛海岸清掃活動では、朝早くから市長さんや市役所の方、東部県土整備局の方、大毛海岸周辺に住んでいる地域の方と一緒に清掃をしました。

ロードアプトでは、全校生徒を対象に学期ごとに、国道の清掃活動に取り組んでいます。ボランティア部中心に軍手や清掃道具の準備・片付けをしています。

### 助成金情報

#### 西友 / ウォルマート・ジャパン 2012年度 社会貢献活動助成先公募

##### ◇助成対象団体

特定非営利活動法人(NPO法人)、一般社団・財団法人、公益社団・財団法人、及びそれらに類する団体で、活動実績が3年以上の団体

##### ◇助成対象分野

###### A. 女性の経済的自立支援

女性の起業・就業支援、それらに関わる各種教育、トレーニングや育児・介護支援活動など

###### B. 食品寄付活動

食品寄付活動(フードバンク)の展開、栄養教育活動や、それらに関わる社会的・法的インフラストラクチャー整備など

###### C. 環境活動

省エネルギーの促進、温室効果ガスの排出抑制、再生可能エネルギーの普及、廃棄物の削減、リサイクルの推進、環境配慮型商品・サービスの普及支援など

###### D. その他の活動

前記AからC以外で、地域活性化、防災、教育、福祉、環境保全などの具体的なニーズに対応した活動

◇助成金額 最大1300万円  
(申請金額の一部への助成になる場合もある)

◇締切日 平成24年3月15日  
(当日消印有効)

##### ◇問い合わせ先

西友 企業コミュニケーション部  
社会貢献委員会事務局  
☎03-3598-7489  
03-3598-7707







## NPOは試練の年

NPO法人まちづくりサークル大麻 理事長 三浦 啓親

私達のNPOは発足10年を迎えます。

登録している活動分野は環境保全とまちづくりですが、前半の5年間は試行錯誤の連続で、板東谷川の美化や中谷の不法投棄対策さらに土曜市の運営などに取り組んできましたが、十分な成果を上げることが出来ませんでした。

後半の5年間は、まちづくりのポイントを中心商店街に置き、都市再生モデル調査の実施と試行事業に取り組み、通り名を公募した「ばんどう門前通り」の誕生、さらにグリーンラインや板東駅前の「まち館」の開設、23年度は「カローリング」競技場の開設と空き店舗のシャッターに、祈願文「四国霊場八十八箇所世界文化遺産」登録を表示しました。このような活動で、徐々に通り景観の方向性が見えるようになりました。



まち館でのライブ

### 新しい公共の担い手

さて、昨年NPO法が改正され、新しい公共の担い手を創出するための事業が始まっています。今年4月以降、NPO法人の事業計画や決算書等の様式が変更されるほか、税制、金融など政策的な支援事業が強化されることになっています。

当法人は平成17年から公民館運営の業務委託を受け、「公共」事業を8年間担っておりますが、業務の取り組みで留意していることは、業務管理の品質と継続性の確保であります。このため管理サイクル（PDCA）を充実させるため、P-D段階ではマニュアル化、C-A段階ではチェックシート活用による仕事の質の向上を心がけております。

NPO法人は、これまでのような慈善的なボランティア組織から、社会の公的な役割を担う組織への脱皮が求められております。今回の法改正により組織体制の強化、情報公開による透明化など認定法人化への対応により、NPOの将来が決定づけられることになりましょう。

あなたのNPO法人は、ウサギのままですか それとも龍になりますか

### 東日本大震災被災者支援 チャリティーバザー&ソントローズデー

日時 平成24年3月11日(日)  
10:00~15:00  
場所 キョーエイ鳴門駅前店4階

☆その他の催し

お茶席 11:00~14:00  
染色教室「彩」によるファッションショー  
1部 12:30~ 2部 14:30~

収益金は東日本大震災被害者支援のための義援金とします。

### 鳴門市市民活動支援センター

鳴門市撫養町南浜字東浜30-9  
老人福祉センター1階

開館日 月~金曜日 13:00~18:00

休館日 土・日・祝祭日・年末年始

☎088-685-7170

(鳴門市社会福祉協議会内)

FAX 088-686-4059

E-mail: naruto.npo.shien@gmail.com